

～ D滑走路建設工事を僅か41ヶ月にて完成～

- 平成19年3月30日に現場着工してから平成22年8月30日までの僅か41ヶ月間(昼夜24時間の連続施工)をもって本体工事を無事に完了した。
工事完了後は、引き続き無線・灯火検査を行い、10月21日の供用に向けて最終調整を進めていく。
- 平成22年8月11日に建設工事15社JVと維持管理工事を契約締結し、9月13日より、滑走路・誘導路等の舗装面や伸縮装置等の点検及び沈下状況に合わせた舗装の補修工事を適宜行い、D滑走路を良好に保っていく。

平成19年12月撮影

地盤改良工 (SCP, SD, CDM)
 棧橋部鋼管杭打設
 ジャケット及び床版の工場製作

地盤改良 船団

平成20年3月撮影

地盤改良工 (H20.3.27完了)
 ジャケット据付開始 (H20.1.8開始)
 接続部護岸矢板打設

棧橋部ジャケット

平成20年9月撮影

外周護岸 (H20.9.14概成)
 ジャケット据付
 (66基据付 / 198基のうち)

外周部護岸

開口部

埋立部進捗
 約43% (投入資材ボリュームに対して)

平成21年2月撮影

管中混合処理土 (H20.11.10開始)
 ジャケット据付
 (108基据付 / 198基のうち)

管中混合処理土

中仕切堤

堤内揚土

埋立部進捗
 約54% (投入資材ボリュームに対して)



【バックナンバー】

http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/haneda/haneda_saikaku/archives_d_run/newsletter/index.html

羽田空港の新しい滑走路(D滑走路)深層混処理工(CDM)の完了
護岸・埋立部の『地盤改良』全て完了
羽田空港の新しい滑走路(D滑走路)
現場着工から1年着々と進む栈橋部
連絡誘導路部のジャケット据付と床版据付
D滑走路埋立部の護岸(捨石マウンド)が海上に出現
埋立部外周護岸のケーソンをわずか2週間で10函据付完了
埋立部:外周護岸の捨石マウンド概成
栈橋部:ジャケット66基目の据付完了
埋立部:管中混合処理土の打設開始
接続部:鋼管矢板并筒護岸のドライアップ開始
埋立部:護岸背後の管中混合処理土が陸地化
栈橋部:ジャケット108基目(55%)の据付が完了

陸上盛土がいよいよ開始
100年間のLCC(ライフサイクルコスト)を考慮した防食技術
埋立/栈橋接続部の上部コンクリート護岸が概成
外周護岸の締切り完了~埋立部/盛土工事が全域で本格化~
埋立部:総施工量 約520万m³にも及ぶ規模の管中混合処理
工法の完了 / 連絡誘導路部:北側場周道路開通によりD滑走路島
へ資機材を陸上運搬
栈橋部・連絡誘導路部:全238基のジャケット据付が完了
埋立部:盛土工事が概成し、滑走路・誘導路の舗装工事(路盤工)
に着手
栈橋部・連絡誘導路部:プレキャストコンクリート床版の製作が完了
埋立部:盛土工事が完了し、滑走路・誘導路の舗装工事が本格化
D滑走路供用開始に向けた飛行検査を開始

工事着工より完成まで約41ヶ月の間、主に工事状況についてお伝えしてまいりましたDランニュースレターは、本号をもって終了いたします。
長きに渡りご愛読頂きまして有り難う御座いました。